

令和2年度使用 小学校家庭科（家庭）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><問題解決的な学習の展開について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての題材が問題解決の流れが3ステップ（①見つめよう②計画しよう・実践しよう③生活に生かそう・新しい課題を見つけよう）で展開されている。 ○ 小題材名の左に3ステップのどの段階の学習なのかが大きく記載されている。 ○ 全ての小題材に「めあて」が記載されており具体的な表現となっている。 ○ 小題材の「めあて」に呼応し「ふり返ろう」という自己評価を行えるように記載されている。 ○ 題材の導入にあたっては「家庭科の窓」と「リード文」が掲載され「家庭科の見方・考え方」の視点が明確になっている。 ○ 「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」「考えよう」「交流しよう」などの活動内容が詳しく文章で記載されており、これらの活動を通して主体的・対話的な学習が展開できるようになっている。 ○ 評価改善の段階では全て「深めよう」という活動が設定されており、既習事項を生かして学びを深めることが期待できる。 <p><実践的・体験的な活動の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実習は大きな紙面を効果的に活用し、横の流れのデザインとなっているので見やすい。 △ 裁縫の写真の中では背景が白いので糸の様子が見づらい。P26.27 ○ 実習の後には「できたかな」で振り返りを行い、達成感を味わわせると共に基礎的・基本的な知識技能の習得を図ることができる。 ○ 「いつも確かめよう」により、困った時にはいつでも開いて確認することができる。 ○ 巻末資料は実寸大写真を活用しているのでイメージをつかみやすい。 ○ 左利き用右利き用の写真も掲載されている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料が豊富である。特に「日本の伝統」「環境教育」「消費生活」「キャリア教育」等今日的課題への取組に配慮されている。 ○ 巻末資料の写真が実寸大なので手をそばに置いて練習できる。 △ 情報量が多いため文字を目で追いつらい。

<問題解決的な学習の展開について>

- 全ての題材が3つの小題材（①見つける・気づく②わかる・できる③生かす・深める）で構成されている。
- 学習のガイダンスにおいて問題解決的な学習は具体的にどのように行うのか、写真を掲載しているのでわかりやすい。
- 5年生の題材の導入では「なぜ〇〇なのだろう」「どのように〇〇なのだろう」という問いかけで必要性やよさに気づくように促している。
- 題材の導入段階では、生活の様々な場面を想起させたり着目させたりする写真やイラストが大きく掲載され、題材の課題に気付くよう工夫されている。
- 「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」というコーナーが設定されており主体的、対話的な学びを促すことができる。
- 題材の終末では「ふり返ろう」のコーナーを設定し、めあてのページに戻ってチェックするようになっている。

<実践的・体験的な活動の充実について>

- 実習の手順が実際の活動をイメージしやすいように横流れのレイアウトで写真が多く掲載されているのでわかりやすい。
- ピーラー（P 1 1）卵切り器（P 1 6）の掲載があり、児童の技能の実態に即した配慮がなされている。
- まち針の止め方、しつけの仕方大きく掲載されており、児童の技能に即した配慮がなされている。P 4 4.4 5
- 実習の後には「できたかな」で振り返りを行い基礎的・基本的な知識技能の習得を図ることができる。
- 題材の終末では「ふり返ろう」と言う自己評価のすぐ横に「生活に生かそう」のコーナーがあり例も掲載されていることで実践への意欲を喚起することができる。
- 各学期の終わりに「チャレンジコーナー」では例が写真と共に数個掲載されていることで家庭での実践への意欲化を図ることができる。指導者も家庭や地域との連携という視点を想起しやすい。

<その他>

- 児童が理解しづらい生活に関わる用語が「一口メモ」としてそのページの下欄に掲載されているので確認がすぐにできる。
- 学期末に学習する「チャレンジコーナー」では日本の伝統文化を多数紹介されている
- 「環境」「安全」「消費」「参考」「防災」「伝統」等のマークで特に留意することについて情報提供がなされている。
- 巻末が充実している。「中学校との接続」「生活の中でのプログラミング」「英語」「五大栄養素」について掲載されている。